

令和6年度 指定管理者 評価報告書

No.	31	評価区分	II 観光施設、産業振興施設
施設名	地域交流センター船津座	所管課	商工課
指定管理者	HIP有限会社	地域名	神岡町

1 施設の概要

施設所在地	飛騨市神岡町船津1130番地1
設置目的	地域産業の活性化及び就業機会の確保を図る。
施設の概要	鉄骨造及び木造 多目的ホール活用施設、会議・休憩施設 野外交流広場、駐車場

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 17 年 4 月	募集の方法	公募
評価年度の属する指定期間	令和6年度 ~ 令和10年度 (5年間)		
利用料金制	有り		

3 職員の配置

配置人員	常勤	4
	非常勤	4

4 施設利用者の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数 (人)	5,525	9,401	10,364	11,221
前年度増減比 (%)		70.2%	10.2%	8.3%

5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
利用者数 16,000人	コロナ禍の影響から徐々に回復し、昨年度より8.3%の増加と
	なったが、目標には届かなかった。(達成率70.1%)

6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	HPメッセージフォーム、LINE、館内の意見箱	件数	2 件
その他の方式	手段		件数	件
利用者等からの意見と対応		要望・意見・苦情	対応	
指定管理者に対する意見	①	AED設置の要望	消防署が近くにあるため引き続き検討。	
	②			
	③			
市に対する意見	①	多目的ホールの一部電球切れ、全体的に暗い	LED化について検討していく。	
	②			
	③			

7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
貸館業務や無料休憩所の運営を通じて地域住民の交流を促進し、祭りやイベントでは関係団体と連携して地域の活性化に貢献している。	地域住民が気軽に立ち寄れる無料休憩スペースを設け、交流促進を図るとともに、イベント時には住民と連携し地域とのつながりを深めている。

8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
船津座俱楽部(モニタリング会議)は人員不足などにより令和6年秋の開催が見送りに。今後の実施は未定だが、地域活性化に向け関係者と協議を続いている。	船津座俱楽部は新規開催ではなく、既存の会議へ参加し、情報収集を行うなど、効率的な運営方法を提案した。

9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
実施なし	

10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
接客、防災・通報・避難訓練講習等の研修を行っている。	全従業員対象で各種研修を積極的に受けている。

11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な内容
収入	31,383	36,898	46,260	44,828	
	指定管理料	20,544	20,544	20,544	20,600
	利用料金	1,591	2,299	2,456	2,764
	純売上高	3,437	8,546	19,069	19,097
	その他	5,811	5,509	4,191	2,367
支出	31,388	37,696	45,622	47,686	
	売上原価	2,309	6,045	13,800	13,674
	人件費	15,142	14,638	14,422	16,122
	光熱水道費	3,749	6,871	6,619	7,227
	設備保全費	2,143	2,143	2,146	2,155
	修繕費	71	160	47	98
	備品消耗品	6	64	16	2
	清掃費	0	0	0	0
	その他管理費	2,437	2,281	2,484	2,496
	運営費事務費	2,845	3,147	3,916	3,758
	その他	2,686	2,347	2,172	2,154
指定管理業務収支	△ 5	△ 798	638	△ 2,858	
自主事業収支					
全体収支	△ 5	△ 798	638	△ 2,858	
備考					

*指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
人口減少が進む中でも、文化・宴会事業の強化や利便性向上により、限られた需要の中で安定した収益確保に努めている。	コロナ禍の影響から徐々に回復し、収入を伸ばしている。一方でカルチャー系の利用が減少傾向にあることから、引き続き、利用促進を図るため積極的な周知を行っていただきたい。

13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
節電や節約に取り組んではいるものの、物価高騰で電気代が増加。今後はESP見直しも視野に経費削減に努める。	R7年度は新電力への契約変更が予定されており、今後の電力コストの削減効果に期待している。

14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価	前年	評価に対する内容
平等利用の確保(10)	b (7)	b	利用者に対しては予約から利用まで公平に対応し、個別のカルテで適切に管理している。
施設の効用の発揮(25)	c (13)	c	設備の老朽化は進んでいるものの、市街地の立地を活かし、地域の多様なニーズに応えている。憩いの場や交流の場、活動拠点としての役割を果たしている。
安定した管理能力(20)	c (10)	c	厳しい経営状況や人手不足が続く中でも、少人数で工夫を重ねながらサービスの質を維持し、安定した運営を継続している。地域のコミュニティ活動を支える指定管理施設として、大きなトラブルもなく長期間にわたり円滑な管理運営を行っている。
経費の縮減(20)	b (15)	b	電力費の高騰に対しては、屋根の融雪について降雪状況等に応じて切り替えるなど、節電に努めている。長年の課題であった新電力への契約変更がR7年度に予定されており、今後の電力コスト削減に大きな効果が期待される。
自主事業等及び各課で定める項目等(25)	c (13)	c	館の特徴である固定座席の無い多目的ホールは、多様なニーズに柔軟に対応できることが最大の強みである。この強みを多くの方々に知っていただくよう周知を図り、幅広い年代やさまざまな分野の方に利用していただきたい。
総合評価	C+ (58)	C+	スタッフの施設運営や事業への意識は高く、地域や利用団体のニーズを捉えた対応がなされており、今後、より一層の運営充実に期待する。